

令和5年度認定 (No. 97)

農業名人

えのき栽培名人 からさわ 唐澤 まさよし 政喜

昭和34年生まれ 南箕輪村在住

「日々丁寧な栽培を心掛ける」



農業大学を卒業後、22歳で就農した。大学在学中に自宅の近くにえのき栽培の施設を作り、以後42年間えのき栽培を行っている。

現在は、9月から3月までの間に、およそ2か月間隔で常時8万本のえのきを栽培している。年間の生産量は約30トンで、全量をJA上伊那へ出荷している。最盛期には、年間約60トンを生産していたこともあったそうだ。

えのき栽培の難しさは、培養の温度と湿度の管理、そして雑菌が入らないように無菌室管理が重要とのことで、長年培ってきた勘や経験がものを言う。

良いえのきは、茎が太く、かさは丸くて乾いており、張りや艶があり、何より日持ちすることが大事。唐澤氏が栽培するえのきは、まさにその条件を満たしたえのきであり、今まで培ってきた経験や技術に基づいて、日々丁寧な栽培に取り組んでいる。

現在、JA上伊那管内でえのき栽培を個人で行っているのは唐澤氏のみとのこと。今後は、現状を維持しながら今までと変わらず丁寧な栽培を心掛けたいとのことで、村におけるえのき栽培の第一人者として、自身のますますの活躍が期待されている。

